

心こころによつて人ひとを見る

目めが見みえないと、どんな不便ふべんなことがあるか考かんがえて、つぎの空白くうはくに書かいてください。

目めの見みえない人ひと

イエスさまは、目めの見みえない人ひとの目めを開ひらかれます。

イエスさまの時代じだいの人々ひとびとは、目めが見みえないのは、その人ひとが罪つみを犯おかしたからだと考かんがえていましたので、ただ目めが見みえないというだけでなく、罪人つみびととしてあつかわれていました。

そこで、イエスさまが目めの見みえない人ひとの目めを開ひらく時じ、土つちをぬって、池いけで洗あらうようと言いわれました。水みづで洗あらうという行こう動どうによつて、ただ、目めが開ひらかれるだけでなく、その人ひとが清きよめられたことを、人々ひとびとに示しめされたのだと思おもいます。

「目めを開ひらく」ということは、ただ単たんに、目めが見みえるようになるというだけでなく、心こころの目めも開ひらかれると

いうことなのです。

## 心によって人を見る

目で見ているからといって、必ずしも真実のこと  
を見ているとは限らないのです。むしろ、目で見える  
ことにとらわれすぎてしまって、誤ってしまうこと  
があるのです。

いろんな出来事に対して、判断を下す時に、いつも  
心によって見るのがとても大切なことです。結果だ  
けにとらわれていると、大事なことを見逃してしまう  
場合があります。

今の社会での評価は、利益があるかどうかという点

に注目されています。社会の中にあつて、利益を生み  
出さないものは、じゃまものあつかいされています。  
これでいいわけがありません。こうした社会の判断に  
まどわされず、心によって見ることににより、イエス  
さまと同じ判断がきるようになっていくのです。

